

---

---

## 流量増大に対する治水手法の例

---

---

# 流量増大に対する治水手法の例

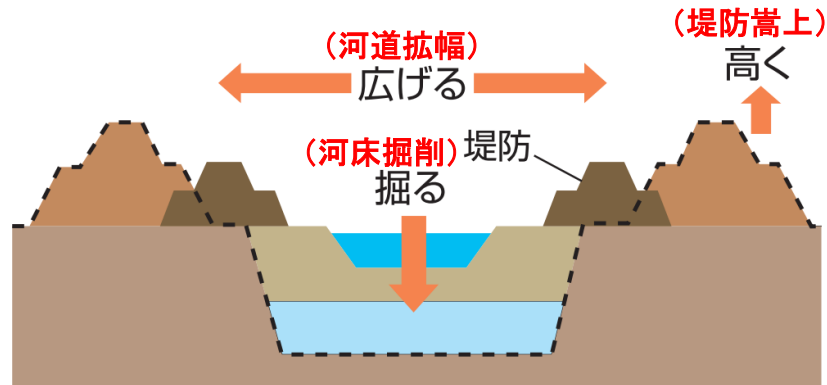
- 河川整備メニューを設定する際には、各治水手法について単独または組合せによる対策案を策定し、実現可能性や浸水リスク、費用対効果を比較し決定。

分類	治水手法	整備内容	課題・留意事項
(1) 洪水を流下させる対策	河道改修	河道拡幅、河床掘削、堤防嵩上	・沿川に家屋等が連担している場合の事業用地の確保
	河道新設	放水路(地下河川含む)	・取排水施設、放水路の事業用地の確保 地下施設の整備に多額の工事費が必要
(2) 雨水、洪水を貯留する対策	流出抑制	ため池、既存調節池の治水活用(既存ストックの活用)	・地権者、管理者との合意形成
		校庭貯留、棟間貯留等	・管理者との合意形成
		調節池	・事業用地の確保 ・地下に整備する場合は費用が高額
	洪水調節	遊水地	・地権者との合意形成
(3) 凌ぐ対策	耐水型整備	局所的な河道改修	・事業用地の確保 ・改修区間下流への影響把握
		宅地嵩上げ、家屋の高床化、移転促進等	・住民との調整 ・土地利用誘導、規制施策の併用

# 流量増大に対する治水手法 (1) 洪水を流下させる対策

## 河道改修 (河道拡幅・河床掘削・堤防嵩上)

- ・河道拡幅、河床掘削、堤防嵩上により河積を確保する



### 【課題・留意点】

- ・沿川に家屋等が連担している場合の事業用地の確保

## 放水路整備

- ・流下能力の不足する区間を迂回する地下放水路を新設
- ・放水路新設後も流下能力が不足する区間は 河道改修や貯留施設の整備等を行う



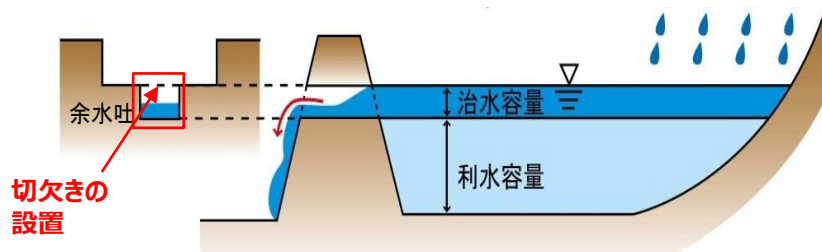
### 【課題・留意点】

- ・取排水施設、地下放水路の事業用地確保が必要
- ・地下施設とする場合、整備に多額の工事費が必要

# 流量増大に対する治水手法 (2) 雨水、洪水を貯留する対策

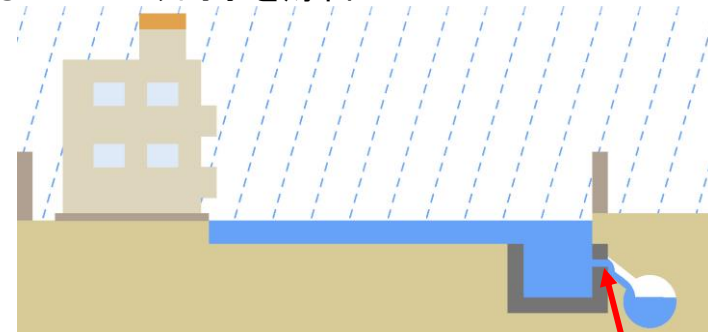
## ため池の治水活用

- ・切欠きや洪水調節管を設置し、常時水位を下げ、降雨を一時的に貯留



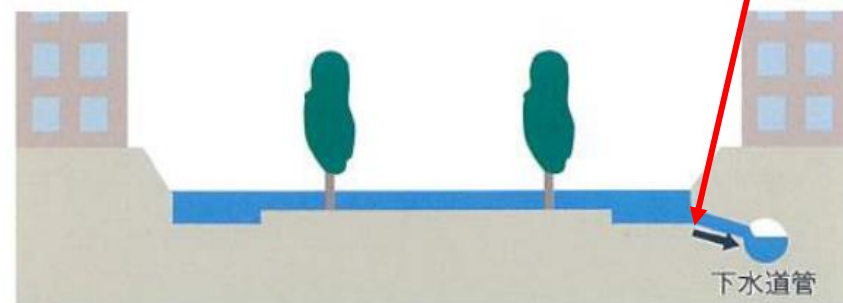
## 校庭貯留

- ・校庭の周囲に小さな堤を設置し、オリフィスで放流口を絞ることにより雨水を貯留



## 棟間貯留

- ・集合住宅の棟の間に雨水を一時的に貯留



### 【課題・留意点】

- ・ため池や校庭、集合住宅の所有者や管理者等の関係者との合意形成が必要

# 流量増大に対する治水手法 (2) 雨水、洪水を貯留する対策

## 流域調節池

- ・下水道や水路で流しきれない雨水を一時的に貯留し  
浸水被害を防止
- ・公園や駐車場の地下空間等を活用して整備



### 【課題・留意点】

- ・事業用地の確保
- ・地下に整備する場合は費用が高額

## 遊水地

- ・農地等に遊水地を設置することで、洪水調節を図る
- ・遊水地設置後においても流下能力が不足する箇所は河道  
改修等により対策



### 【課題・留意点】

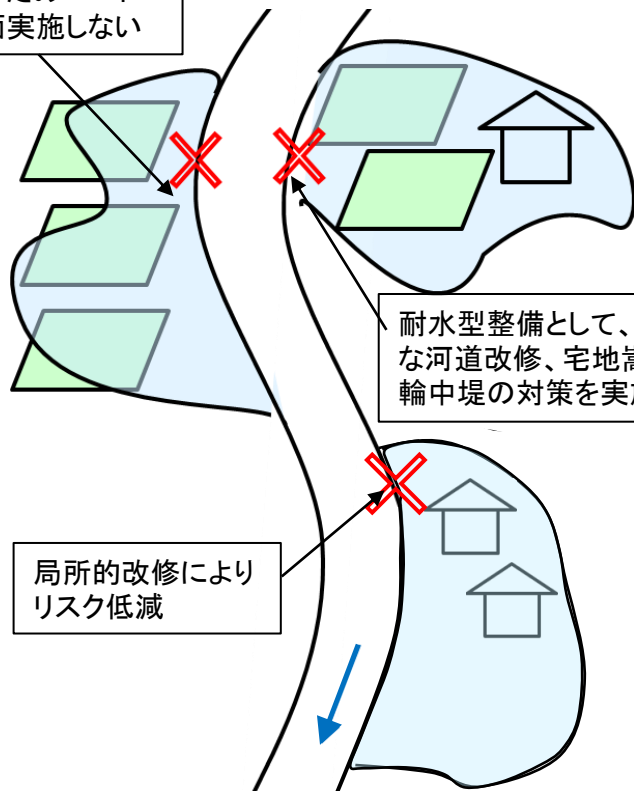
- ・地権者との合意形成が必要

# 流量増大に対する治水手法 (3) 耐水型整備

## 耐水型整備

(現況) 河川整備前

人家が無いためハード対策は当面実施しない



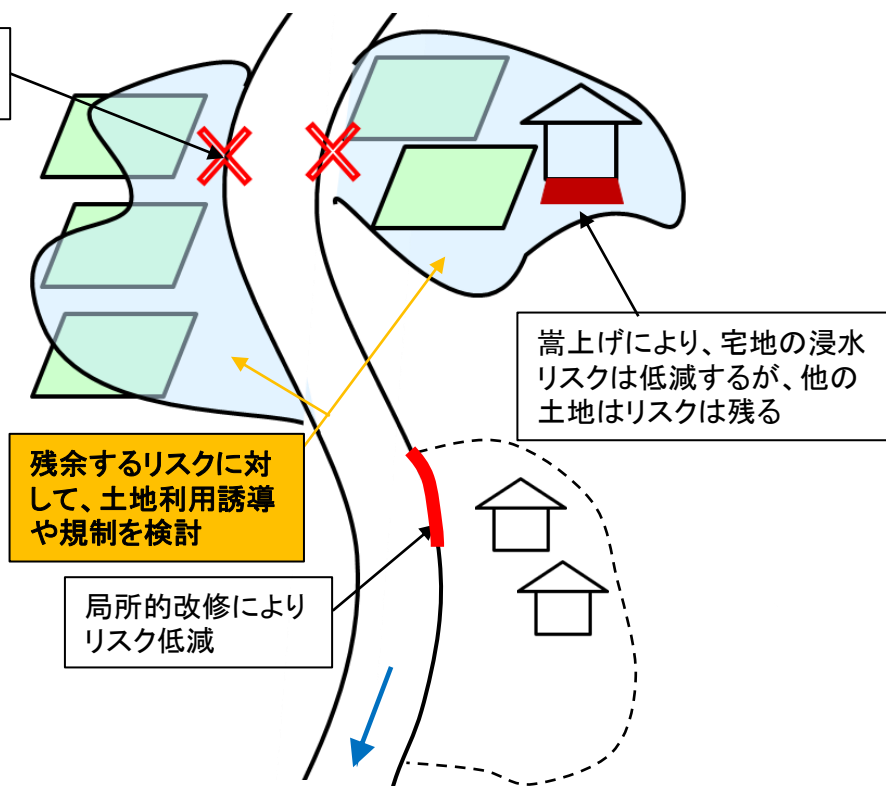
耐水型整備として、部分的な河道改修、宅地嵩上げ、輪中堤の対策を実施

局所的改修によりリスク低減



河川整備後

ハード対策はしないため、リスクは残る



嵩上げにより、宅地の浸水リスクは低減するが、他の土地はリスクは残る

残余するリスクに対して、土地利用誘導や規制を検討

局所的改修によりリスク低減

### 【課題・留意点】

- 嵩上げ等と併せて土地利用規制を実施する場合、土地所有者等の理解を得る必要がある。

